

# 令和7年度一般選抜試験

## 学 力 試 験

### 数学，物理，化学，生物，日本史， 世界史，英語，国語

令和7年2月24日 9時30分—11時30分

#### 注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないこと。
- 2 各科目の問題は下記のページにある。

科目名	数 学	物 理	化 学	生 物	日本史	世界史	英 語	国 語
ページ	3～7	8～12	14～19	20～27	28～33	34～38	39～50	51～63

国語は順序が逆で63ページ(国語1)から始まり51ページ(国語13)で終わるので注意すること。

- 3 出願時に届け出てある2科目の問題に解答すること。これに違反した解答は無効とする。
- 4 解答には黒鉛筆、黒色シャープペンシル又は黒色ボールペンを使用すること。
- 5 解答は解答用紙の所定の解答欄に記入すること。
- 6 解答用紙の指定欄に志望学科・コース、受験番号、氏名を記入すること。
- 7 解答の記入の仕方については、解答用紙並びに問題の初めに書いてある注意に従うこと。
- 8 本冊子の余白は計算・草稿用に使用してよい。ただし、切り離さないこと。
- 9 試験時間内の答案提出、退室は認めない。
- 10 問題冊子及び解答用紙は、全て回収するので持ち帰らないこと。

学 科 ・ コ ー ス		受 験 番 号						氏	
								名	

上欄に志望学科・コース、受験番号、氏名を記入すること。

# 世界史

- 1 問題〔1〕～〔5〕のうちから4問選択して、解答用紙に解答すること。
- 2 選択した問題の番号を解答用紙の選択問題番号欄に記入すること。

〔1〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

前1500年頃にパレスチナ地方に定着した人々は、前1000年頃には王国を建てた。その後、  
1 王や 2 王の時代には繁栄したが、周辺の大国の圧迫を受けて苦難の歴史を経験する。そのような民族的体験を通して、選ばれた民のみが神に救済されるという思想と、救世主  
(3) を待望することを特徴とするユダヤ教が確立した。この頃からユダヤ教を受け入れた  
人々はユダヤ人と呼ばれるようになる。

前1世紀頃になるとパレスチナはローマ帝国に支配されるようになった。1世紀頃パレスチナに誕生したイエスは、ユダヤ教の洗礼を受ける。しかし、イエスは、ユダヤ教の律法主義や司祭たちのあり方を批判して、新しい教えを人々の間に広めた。イエスの教えに共感した人々は、彼のもとに集まった。このことに危機感を抱いたユダヤ教の指導者たちは、イエスを反逆者としてローマの属州総督に訴えた。そのため、イエスは捕らえられて十字架刑で処刑された。

イエスが処刑された30年頃、イエスの復活を信じた人々の間にイエスをキリスト(救世主)とする信仰が誕生した。それが、キリスト教である。キリスト教は 4 や 5 をはじめとする使徒たちにより当時のローマ帝国が支配していたアジアやヨーロッパの各地に伝えられ、それぞれの地に教会が建てられた。当初、ユダヤ人の民族宗教として成立したユダヤ教は、キリスト教に受け継がれたが、そのキリスト教はローマ帝国に伝わり、その後世界中に伝えられたことにより世界宗教となった。

問1 空欄 1 ～ 5 に当てはまる最も適切な語句をカタカナで答えよ。

問2 下線部(ア)について、パレスチナの人々が前586年に体験した歴史的出来事を答えよ。

問3 下線部(イ)について、このような思想の名称を漢字2字で答えよ。

問4 下線部(ウ)について、キリスト教の教えの特徴をユダヤ教の教えと比較して、60字以内で説明せよ。

問5 下線部(エ)について、ローマ帝国に伝わったキリスト教は当初激しい迫害を受けたが、313年に皇帝コンスタンティン1世が出した勅令で公認された。その勅令の名称を答えよ。

〔2〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

第二次世界大戦後、アメリカを中心とする資本主義諸国と、ソ連を中心とする共産主義諸国の対立が顕在化していった。1946年、イギリス前首相は、外遊中のアメリカにて東欧で次々とソ連が主導する共産主義国家が誕生していることに警鐘を鳴らした。これに危機感を募らせたアメリカは翌1947年、共産主義勢力との内戦状態にあったギリシアとトルコに対して軍事的・経済的援助を実施した。

当時、戦争で荒廃したヨーロッパでは経済活動が滞り、人々の不満を背景にフランスやイタリアなど西欧諸国でも共産党が躍進した。アメリカはヨーロッパ諸国の経済再建とその安定化はソ連の共産圏拡大に対する壁になると考え、ヨーロッパ復興に向けた大規模な経済援助を発表した。ソ連はこれに反対し、東欧諸国の参加を拒否させ、各国共産党の情報交換機関として [ 1 ] を結成し、自由主義陣営となる西側に対抗した。こうした米ソ間の対立を [ 2 ] と呼ぶ。1949年、アメリカと西欧諸国はソ連に対抗する軍事同盟となる [ 3 ] を発足させ、ソ連はそれに対抗して1955年に東欧諸国と共に軍事同盟となる [ 4 ] を発足させた。そして1961年にはソ連の影響下にあった東ドイツ政府は、ベルリンを東西に分断する [ 5 ] を建設した。

問1 空欄 [ 1 ] ～ [ 5 ] に当てはまる最も適切な語句を答えよ。

問2 下線部(ア)について、このイギリス前首相は誰か、次から一つ選び、記号で答えよ。

- a ムッソリーニ    b ルーズベルト    c スターリン    d チャーチル

問3 下線部(イ)について、イギリス元首相がソ連の共産勢力の拡大がヨーロッパを東西に分裂させるという意味で用いた比喻表現を答えよ。

問4 下線部(ウ)について、このアメリカ大統領によるギリシア・トルコに対する支援表明の名称を答えよ。

問5 下線部(エ)について、この欧州復興計画の名称を答えよ。

〔3〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

ポーランドはリトアニアと同君連合を形成し、近世初頭の東欧の大国だった。しかし、16世紀後半に王朝が絶えると貴族主体の [ 1 ] 王政に移行し、西欧の絶対王政とは異なる政治体制をとった。また、同世紀末に即位した国王はカトリック修道会である [ 2 ] 会の支持者であり、周辺地域のカトリック化に乗り出したが、スウェーデンではルター派の、ロシアではギリシア正教徒の反発にあって失敗した。こうしたあいつぐ紛争でポーランドの財政は破綻し、中央集権化の試みも頓挫した。弱体化したポーランドは、18世紀後半に国土を周辺諸国によって奪われ（ポーランド分割）、国家として消滅した。一方、16世紀前半にデンマークの支配を脱して独立王国となったスウェーデンは、絶対王政化を開始し、三十年戦争ではドイツの要所にも領土を広げて、[ 3 ] 海地域の覇権を握った。スウェーデンは、経済的には製鉄が盛んだったが、ほかの北欧諸国と同様に人口が少なく、18世紀初めにロシアとの [ 4 ] 戦争に敗北して、急速にその地位を低下させていった。

ロシアでは16世紀以降、[ 5 ] 大公国のイヴァン4世が、キプチャク=ハン国分裂後の権力の空白を利用して、東方・南方に領土を広げた。また、彼は貴族を官僚に登用し、皇帝へ権力を集中する独自の絶対王政を確立した。同世紀末にイヴァン4世が死去するとロシアは動乱の時代を迎えたが、17世紀初めに [ 6 ] 朝が成立し、新国王が選出されて混乱は終息した。17世紀半ばにロシアは、国境地帯のコサックを支援しつつ、ポーランドと争ってウクライナ地方を獲得した。さらに、同世紀末に即位したピョートル1世（大帝）は、ロシアを大きく変化させた。対外的には [ 3 ] 海地域への進出をはかり、その地域の沿岸に新首都 [ 7 ] を築き、[ 4 ] 戦争でスウェーデンに勝利して同地域の覇権を握った。また東方でもシベリアを経て極東に領土を広げ、清朝と [ 8 ] 条約を結んで国境を定め、通商を開いた。18世紀後半のエカチェリーナ2世は、日本にも使節を送ったほか、オスマン帝国からクリミア半島を奪って黒海に進出する一方、弱体化していたポーランドをプロイセン・オーストリアとともに分割し、両国と直接に国境を接するようになった。

問1 空欄 [ 1 ] ～ [ 8 ] に当てはまる最も適切な語句を答えよ。

問2 下線部(ア)について、この名称を答えよ。

問3 下線部(イ)について、この人物は、国内でどのような改革をおこなったか、45字以内で述べよ。

問4 下線部(ウ)について、このときの清朝の皇帝は誰か、答えよ。

問5 下線部(エ)について、この使節の一人で、初の訪日ロシア使節であったロシア軍人は誰か、答えよ。

〔4〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

ルネサンスは、14世紀頃から16世紀頃にかけて西ヨーロッパに興った文化運動であった。ルネサンスとは、ギリシア・ローマの古典文化の  を意味していたが、実際には単なる古代の  ではなく、古典の研究を手掛かりにしてヨーロッパに起こった新しい市民精神運動であった。ギリシア・ローマの古典を典拠として新しい自由な人間性の本質を探っていた人々は  と呼ばれた。

ルネサンスは、まずイタリアに興り、さらにアルプスを越えて、フランス、イギリス、ドイツへと波及していった。イタリアにルネサンス運動が始まった理由はいくつか挙げられる。イタリアには古代ローマの遺跡が多く残っていたこと、第二に、イタリア諸都市が地中海貿易の興隆によって活気に満ちた市民生活を生み出していたこと、第三に  年に東ローマ帝国が滅亡し、多くの学者がイタリアに亡命してきたことなどである。

イタリアのルネサンスを代表する芸術家としては、自然科学にも優れた業績を残し「万能の人」と呼ばれた  がいたが、彼は晩年をフランス王フランソワ1世の下で過ごした。フィレンツェの  はイタリアを他国の侵略から守るために、宗教や道徳にとらわれずに政治権力を行使する君主の出現を期待し『君主論』を著し、近代政治学の基礎を作った。さらにロッテルダムに生まれたカトリック司祭  は『愚神礼賛』を著し、当時の教会や指導者を痛烈に批判すると同時に、宗教革命者ルターとも論争し、自由意志や寛容の精神を説いた。イギリスでは  の親友  が『ユートピア』を著し、批判精神と公共精神の育成を訴えたが、ヘンリー8世によって刑死させられた。

問1 空欄  ～  に当てはまる最も適切な語句・数字を答えよ。

問2 空欄  ～  に当てはまる語句を次から一つ選び、記号で答えよ。

- |           |           |                |
|-----------|-----------|----------------|
| a メラヒントン  | b レンブラント  | c トマス=モア       |
| d 啓蒙思想家   | e ミケランジェロ | f エドモンド=スペンサー  |
| g ロマン主義者  | h ラファエロ   | i エラスムス        |
| j ヒューマニスト | k ジョン=ロック | l レオナルド=ダ=ヴィンチ |

問3 下線部(ア)について、トスカナの方言を純化して、これをイタリアの標準語にまで高め、ルネサンス運動の先駆者となった詩人は誰か、答えよ。

問4 下線部(イ)について、フランスにおけるルネサンスを代表する一人であり、ユグノー戦争の調停に尽力した人物は誰か、答えよ。

問5 下線部(ウ)について、多くの学者・文人・芸術家を保護し、イタリアのフィレンツェをルネサンスの中心地とすることに力をおよぼした金融業の一族の名称を答えよ。

〔5〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

北アジアの草原での遊牧生活を基盤としていた匈奴は、秦の統一後、一時的に後退していたが、前漢の高祖の時、再び南下して国境地帯を脅かした。前漢の武帝は、積極的に軍事力を行使し、西方では、四郡を河西回廊に設置し、西域への交通路を確保した。この頃中央アジアには様々な国々が存在し、稲や麦を作り、ぶどう酒や良馬を産していたといわれる。前漢の時代には西域の諸国は [ 1 ] によって治められた。後漢になって一時中断された西域経営のために再び設置された [ 1 ] となった班超は、部下の甘英を西方へ派遣した。甘英は、安息国を経て大秦国に達したといわれる。

中国へ後漢末に伝来した仏教は、西域から来た僧侶によって仏典の漢訳が行われ、中国社会に浸透していった。東晋の僧侶法顕は、インドに赴き仏教を学び『 [ 2 ] 』を著わした。仏教は、その後南北朝時代を経て唐代に中国仏教として発展した。玄奘は西域を経由してインドに赴き仏典を持ち帰り、その旅行記は、『 [ 3 ] 』として後世に残された。また、東南アジアの諸国を経由する海路でインドに赴いた [ 4 ] は、『南海寄帰内法伝』を著した。

問1 空欄 [ 1 ] ～ [ 4 ] に当てはまる最も適切な語句を答えよ。

問2 下線部(ア)について、後漢に南海ルートで使節を派遣した大秦国の皇帝は誰か。次から一つ選び、記号で答えよ。

- a マルクス=アウレリウス=アントニヌス    b    トラヤヌス    c    デイオクレティアヌス  
d    コンスタンティヌス

問3 下線部(イ)について、仏典の漢訳を行った、西域から来た僧侶は誰か。次から一つ選び、記号で答えよ。

- a 鳩摩羅什    b    達磨    c    鑑真    d    道安

問4 下線部(ウ)について、玄奘が滞在したときに北インドにあった王朝は何か、名称を答えよ。